

平成の御代を締めくくり、新しい時代が始まろうとしています。

こうした時代の節目を象徴するように、「大山さんのおかげ」に感謝を捧げ、その素晴らしさを皆で共有し豊かな恵みへつなげていく「大山開山 1300 年祭」が、各地で様々な花をひらかせながら開催されています。昨年は、眞子内親王殿下をはじめとして、数多くの方々に大山とその一帯を訪れていただきました。災害が相次いだ年ではありましたが、イベントや観光、登山などに国内外から来られた皆様に、悠久の時を刻む大山とともに育まれた歴史、文化、自然、食などをお楽しみいただくことができない、災害で大きく減ることとなった観光客数を逆に増加させる大きな成果を上げることができました。これも、献身的に御尽力いただきました観光、経済、文化、地域おこしなどの関係者の皆様、市町村など地域の皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。

「大山開山 1300 年祭」を通して私たちが体験することになったのは、まさに「地域の力」です。そして平安時代の刀工「伯耆安綱」の刀に代表される日本刀の歴史、古からの「大山道」、素晴らしい自然環境の中で望む星空、米子城や水木しげるロードのライトアップなど、今まで十分光が当たってこなかった数々の新しい魅力を見出すことができました。更に、大山ブランドを新たに興し、自慢料理を開発し、お地蔵さんをはじめ地域のイベント活動を創出するなど、多くの方々が心を一つに大山のもとに束ねられることで、大きな成果を重ねてこられました。

今年も「大山開山 1300 年祭」の諸行事が、結願法要をはじめ続いていきます。

大山を果たてに望む窓近く 体かはしつ ついはつばめ飛ぶ

天皇陛下から賜りました御製に歌われるかけがえのない大山を、地域の皆様とともに守り育ててまいります。つつがない年となり、大山 1300 年祭が更なる成功を収められることをお祈り申し上げます。

伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会名誉顧問
鳥取県知事 平井 伸治